

津高地区親子まつり

～深まるきずな つなぐ世代 津高の輪～

津高地区親子まつりは、津高地区の3小学校(馬屋上小、野谷小、横井小)を輪番制で会場にして、昔遊びなどの伝承により、親子のふれあいを深め、コミュニティの活性化や手づくりのよさや地域の文化を伝えて郷土愛を育もうと考え、津高地区の町内会、PTA、商工会、教職員など約130名が協働して、昭和55年から年1回開催、約1000人が参加しています。



開会式での演奏 (横井小学校ブラスバンド部)

津高地区親子まつりの目的

- 親子で楽しく遊び、親子のつながりを深めよう
- 遊びを知らない子どもたちに多様な遊びを伝えよう
- 仲間で遊ぶ楽しさ、ものを作り出す喜びを味わわせよう
- 退廃文化から子どもを守り、正しい文化・地域の伝承文化を伝えよう
- 父母、教職員、地域の人々で、共に教育、文化を守り育てよう

あそび

昔は身の周りのものを使って遊び道具を作ったり、年齢の異なる人たちと遊んだりしていました。遊びを通じて巧みでしなやかな手や体を獲得してきました。津高地区親子まつりでは、そうした遊びを体験します。



輪ゴムてっぼう

馬屋上では、小学校裏山の馬屋上自然公園でロープや滑車を使った遊びや植物当てクイズにより自然の魅力を感じます。地元の消防団の協力で、安全に配慮した活動になっています。



竹ぼうき、竹ぼっくり



ペーゴマ

切り出しナイフを使って竹を割り、削って竹とんぼを作るコーナーでは、みんな一生懸命になり作る喜びを知ります。大人に助けをもらって竹馬に乗れるようになるなど、普段の生活ではできない経験をすることができています。



ターザンごっこ

手まりやお手玉などの昔遊び、牛乳パックや紙コップの手作りおもちやコーナーなどもあります。手作りの良さを味わったり、地域の人と話をしながら体を使って思いっきり遊ぶ楽しさを体感します。

多世代交流

体育協会の協力で餅つきをしたり、商工会による焼き芋、年によって違う昔懐かしのたこせんべいなどのおやつコーナーもあります。多世代の人が協力することで、こうした取組ができています。



中学生の読み聞かせ



餅つき

読み聞かせや、養護部会による体力測定や豆つかみなど、各組織や個人の得意を生かした数多くのコーナーがあります。大人から子ども、子どもから子どもと、さまざまなコミュニケーションが生まれています。

●地区の特徴を生かして

輪番制のため、まつりの内容は各地区の特徴を生かし、毎回異なるものになります。横井では、ブラスバンド部の演奏やディスコン大会などがあります。馬屋上では、自然公園での冒険コースで自然の魅力を感じます。野谷では、跳び箱やマットを使ったびっくり野谷城が特徴です。



●津高地区親子まつりの役割

当日までに実行委員会を何度か開き、役割に応じて準備を進めます。材料調達はとても大変ですが、この準備にも地域住民や学校などのやり取りが生じます。津高地区親子まつりは、子どもたちへの文化継承や郷土愛の醸成だけでなく、人々のコミュニケーションを生み、地域コミュニティを維持することにもつながっています。開始当初の、地域のもつ教育力を復活させて地域の人々に関わり、子どもたちの発達に寄与したいという願いを受け継ぎながら、今後も取組を続けていきます。

●津高地区親子まつり実行委員会 協働団体

馬屋上学区・横井学区・野谷学区の連合町内会・高齢者クラブ・愛育委員会・交通安全母の会・体育協会・小学校・PTA、香和地区青少年育成協議会、岡山市消防団馬屋上分団、馬屋上学区栄養改善協議会、横井学区栄養改善協議会、野谷婦人部、野谷学区主任児童委員、津高地区養護部会、馬屋上学区女性の会、馬屋上コミュニティ事務局、横井学区ボランティア、遊創会、津高子ども劇場、野谷保育園、横井幼稚園、横井保育園、富原保育園、さくらこども園、第二さくらこども園、香和中学校・PTA、岡山北商工会 青年部津高支部・女性部津高支部、福祉交流プラザ富原